

# 上下水道広域統合監視制御システム

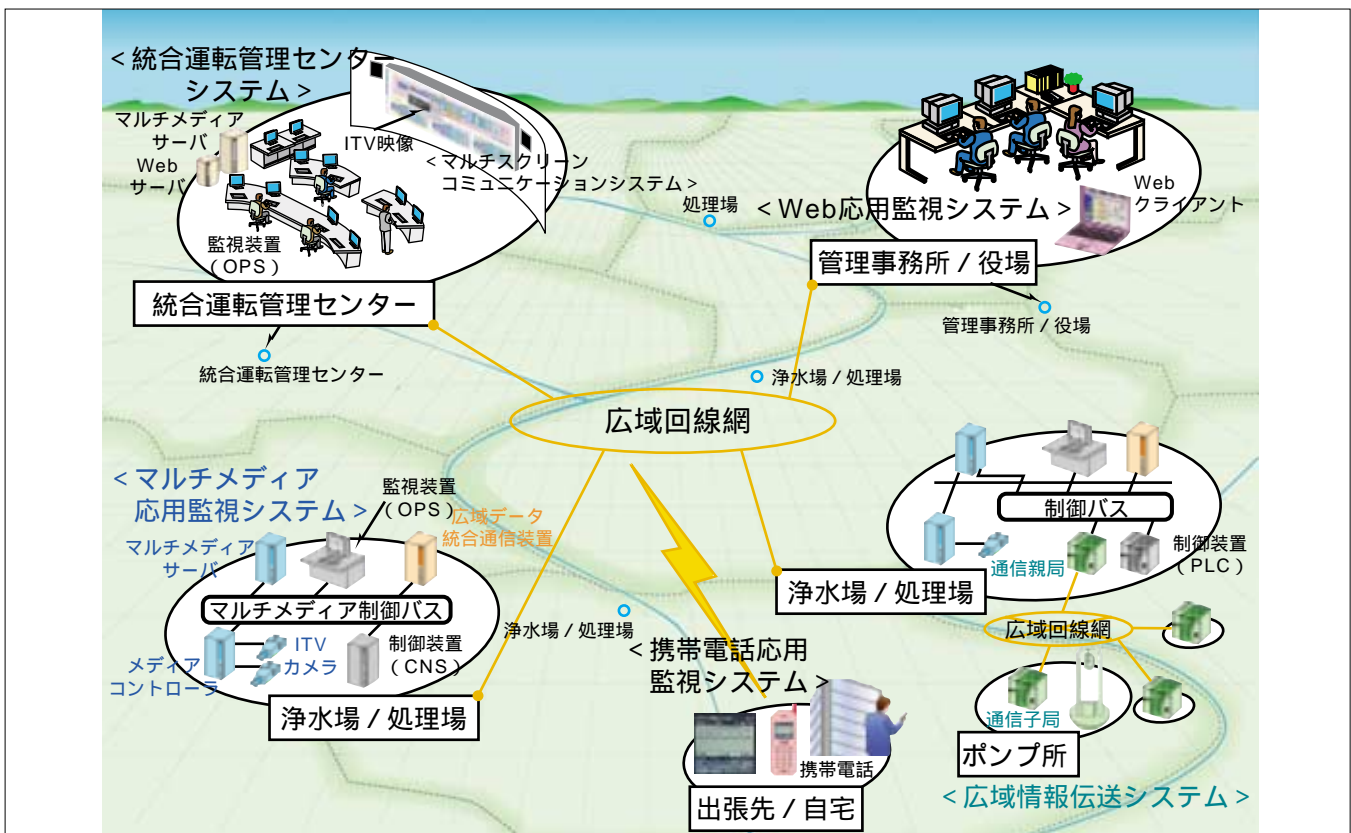
## 要 旨

上下水道事業においては、自治体の財政状況の悪化，市町村合併，水道法改正，省エネルギー法改正などの背景により，総合的なコスト縮減に取り組むことが強く求められている。このような中，コスト縮減施策の一つとして，建設及び維持管理の両面においてスケールメリットを求める観点から，事業の広域化・統合化・共同化が進められている。上下水道プラントにおいてこれらを実現する上で，監視制御システムをどのような構成とし運用するかが，重要な役割を果たしている。

三菱電機の上下水道監視制御システム“MACTUSシリーズ”では，これまで，プラント規模，運用形態などの多様な要求に対応した製品をラインアップしてきた。さらに，

最近の通信インフラの発達を受けて，種々のネットワーク技術を活用したシステム拡張を行い，広域化と統合化を進めてきた。

本稿では，新たに開発した上下水道広域統合監視制御システム(統合運転管理センターシステム，マルチメディア応用監視システム，Web・携帯電話応用監視システム，広域情報伝送システム)について述べる。新システムでは，最新のネットワーク技術(光ファイバ網や無線，インターネットやイントラネットなど)の利用によって既設システムの広域化，Web端末の接続など様々な形態でのシステム拡張が可能であり，広域化と統合化による費用の削減を目指している。



上下水道広域統合監視制御システムのイメージ図

このイメージ図は，上下水道広域統合監視制御システムのシステム全体構成を示す。従来の監視制御システムに加えて，複数施設を統合管理するための統合運転管理センターシステム，ITV映像も扱うマルチメディア応用監視システム，インターネット技術を用いたWeb・携帯電話応用監視システム，小規模施設の遠隔監視のための広域情報伝送システムを開発した。